

男声合唱団 お山の大将 のあゆみ

男声合唱団「お山の大将」は、1990年1月、混声合唱団「かたくり」の男声6人の有志によって、天狗で名高い高尾山の麓に産声を上げました。それから四半世紀、今年には団設立24年に当たります。

設立当時、団員たちはまだ、天狗に睨まれると肩をすくめるような「若者」でした。「お山の大将」という、元気で腕白なネーミングは、スマートな横文字の多い合唱団名の中では、実にユニークで、誰からも親しみをもって迎えられる、“いい団名”だと思っています。そして、「男声合唱のハーモニーを心ゆくまで追求し、天狗を唸らせる響きを完成させたい」と、命名者の松田有子先生の指導のもと、日々研鑽を積んでいます。

団員は現在23名。最高齢の85歳を筆頭に、平均年齢は70歳。50代のメンバーは<青年>と呼ばれています。発足以来の団員も在籍しており、松田先生の魅力ある指導法に共感するOBたちは、それぞれの場で、指導者として、主力メンバーとして活躍しています。また、演奏会には毎回駆けつけ、男声合唱の醍醐味を楽しんでいただいています。

定期演奏会の「合同ステージ」では、第1回以来、「一緒に歌いませんか」という呼びかけに応じた、多摩地区をはじめ、各地の男声合唱愛好者に参加して頂いており、相互の研鑽と交流を深める大きな輪が広がっています。

これからも、団名に込められた精神を忘れず、研鑽を続けて、男声合唱の魅力と醍醐味を皆さんに届けたいと願っております。

《演奏活動》

定期演奏会は第1回を2003年1月に開催。今回は7回目を迎えました。「八木重吉・茶の花忌」などでの演奏活動に加えて、2009年9月にはスロベニア共和国「トリグラウ男声合唱団」を迎え、松田先生指導の5つの合唱団（有友会を形成）と総勢120人に及ぶジョイントコンサートを成功させました。2011年12月には有友会の「いろえんぴつ」、「やまなみ」（有志）、「お山の大将」（有志）で東日本大震災の被災地、石巻市を訪問。石巻メンネルコールなど、当地の3つの合唱団との交歓演奏会に参加しました。2012年5月にはいちょうホールでの「加藤登紀子コンサート」のバックコーラス、2013年3月には福島県いわき市のいわき芸術文化交流館アリオスで行われた小林研一郎氏指揮の演奏会、「コバケンが振る男声合唱ピエロ in いわき」への参加（中心になった「多摩にピエロを歌う会」は、多摩地区の男声合唱団有志を中心に形成）など、貴重な体験の中で活動の幅を広げてきました。